



東北地域の和食文化メールマガジン

令和6年11月18日（月）第67号



【目次】

1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2025」出店者募集
2. 農林水産省 第15回農林水産省料理人顕彰制度「料理人マスター」受賞者決定
3. 農林水産省 「ありが糖運動」公式マスコットキャラクターデザイン募集
4. 農林水産省 「有機農業の日」特設サイトを開設しました
5. 日本地方創成協会 「第15回調味料選手権」審査結果
6. 全国食の甲子園協会 「第13回ご当地！絶品うまいもん甲子園」開催結果
7. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 11月号

- =====
1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2025」出店者募集

=====

東北農政局は、東日本大震災の被災地支援の一環として、風評払拭や産地の活力再生を通じた被災地の復興を応援する「食べて応援しよう！in 仙台 2025」の開催をいたします。

イベントの趣旨に御賛同頂ける出店者を募集しています。

開催日時：令和7年3月15日（土曜日）10:00～16:00

令和7年3月16日（日曜日）10:00～15:00

場所：錦町公園（仙台市青葉区本町2-21-1）

募集店舗数：40店舗程度（出店料は無料）

応募方法：出店申込書等をメール又は、郵送で提出

応募期間：令和6年11月15日（金曜日）～令和7年1月9日（木曜日）

【東北農政局HP】出店申込の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/keiei/syokuhin/241115.html>

- =====
2. 農林水産省 第15回農林水産省料理人顕彰制度「料理人マスター」受賞者決定

=====

農林水産省は、第15回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」の受賞者（ゴールド賞3名、シルバー賞4名、ブロンズ賞7名）を決定しました。

生産者や食品企業等と「協働」し、地産地消や日本の食文化の普及をはじめとした様々な取組に尽力されている現役の料理人を対象とし、日本の「食」、「食文化」等の素晴らしさや奥深さ、更にはその魅力に誇りとこだわりを持ち続ける料理人を顕彰する制度です。

東北から、ゴールド賞1名、シルバー賞1名、ブロンズ賞2名が受賞しました。

ゴールド賞：笹森 通彰 「オステリア・エノテカ・ダ・サスィーノ」（青森県）イタリア料理

シルバー賞：黒森 洋司 「楽・食・健・美-KUROMORI-」（宮城県）中国料理

ブロンズ賞：佐藤 治樹 「出羽屋」（山形県）日本料理

渡邊 健一 「Remède nikaho」（秋田県）フランス料理

【農林水産省HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/gaisyoku/241030.html>

【農林水産省HP】「料理マスターズ」の概要はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaisyoku/kensyou/attach/pdf/index-41.pdf>

=====

3. 農林水産省 「ありが糖運動」公式マスコットキャラクターデザイン募集

=====

農林水産では、砂糖・スイーツ等に関する知識の普及とその需要拡大を図るため、「ありが糖運動」を実施しています。

本運動の認知度を更に向上させ、また、幅広い世代の方々に親しみを持って本運動に参画していただけるよう、下記によりマスコットキャラクターのアイデアを募集します。

募集期間：令和6年10月25日～12月9日

【農林水産省HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/kansho/kakudai/character.html>

【農林水産省HP】「ありが糖運動」の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/kansho/kakudai/>

=====

4. 農林水産省 「有機農業の日」特設サイトを開設しました

=====

有機農業推進法が成立してから10周年を記念し、2016年に12月8日が記念日「有機農業の日」として制定されました。

12月8日「有機農業の日（オーガニックデイ）」をきっかけに、有機農産物を活用した給食の提供や有機食品の販売促進、情報発信などに取り組んで、有機農業の推進に参加してみませんか？特別期間中（令和6年11月18日～12月13日）は、「学校給食での有機農産物の利用」、「有機食品の販売促進の取組」を推進すると共に、「有機農業関連イベント」をご紹介します！

【農林水産省HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/youki/yuki1208/yukinohi.html>

=====

5. 日本地方創成協会 「第15回調味料選手権」審査結果

=====

一般社団法人日本地方創成協会主催による「第15回調味料選手権2024」の審査結果の発表がありました。

『調味料選手権』は、調味料の魅力を社会に広め、調味料業界の活性化を目的として開催しているイベントです。

日本の伝統調味料を見直し、和食を再考する日として、日本野菜ソムリエ協会が11月3日はイイ味覚の日＝「調味料の日」を記念日として制定。この記念日に合わせて毎年開催しています。

全国から 183 品のエントリーがあり、東北から総合 2 位&ご当地部門最優秀賞に「ピリ辛松川浦かけるあおさ」株式会社マルリフーズ（福島県）が受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000093.000110263.html>

=====

6. 全国食の甲子園協会 「第 13 回ご当地！絶品うまいもん甲子園」開催結果

=====

一般社団法人全国食の甲子園協会主催による「第 13 回ご当地！うまいもん甲子園」決勝大会が 11 月 3 日に東京都品川区で開催され、弘前実業高校家庭科学科チーム（青森県）が優勝し、農林水産大臣賞を受賞しました。

現在、食、農林漁業を取り巻く環境は、震災、後継者不足、不景気等々、非常に厳しい状況だと考え、高校生が夢を持ち行動し、その夢を応援する事が今の日本にとって、とても大切だと考えた食企画が「ご当地！絶品うまいもん甲子園」です。

授賞した料理は、青森の 5 つの食文化と 10 個の特産品を使用した「がっばとバーガー」です。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://umaimonkoshien.com/umaimon.html>

=====

7. 農林水産省 Web マガジン「aff（あふ）」 11 月号

=====

農林水産省では毎月、Web マガジン「aff」を発行しています。

11 月号の特集は「魚に夢中」です。

日本の魚と魚食を語り、水産現場と魚の今を伝え、楽しく食べる旬の魚の簡単レシピなどを紹介します。

【農林水産省 HP】「aff」11 月号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>